

## ■ 農作物の生育状況と今後の対策等

平成29年10月13日  
三八地域県民局地域農林水産部  
農業普及振興室

### I 土地利用型作物

#### 1 水稲

(1) 生育観測ほにおける「生育状況」について（管内生育観測ほの平均）

成熟期の登熟歩合は、「まっしぐら」が74.1%、「つがるロマン」は71.2%で、  
 平年・前年より低かった。

<生育観測ほの生育データ（平均値）>

品種名	年度	成熟期				籾数		登熟歩合	
		稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/株)	m <sup>2</sup> 穂数 (本/m <sup>2</sup> )	1穂 (粒)	m <sup>2</sup> (粒)	9月1日 (%)	成熟期 (%)
まっしぐら	本年	81.3	17.7	17.6	360	85.6	30,769	15.8	74.1
	平年	76.2	17.3	18.0	387	82.2	31,849	55.3	83.6
	管内9地点の平均値	74.0	17.2	16.9	356	86.1	30,795	76.8	89.5
つがるロマン	本年	82.6	19.0	16.4	341	86.2	29,041	11.8	71.2
	平年	80.4	17.7	17.0	367	83.0	30,502	56.5	85.6
	管内3地点の平均値	77.8	17.8	16.5	359	90.3	32,684	68.9	87.0

注) m<sup>2</sup>籾数は、9月1日・9月15日・成熟期における調査結果の平均値である。

(2) 刈取進捗状況について

管内全体における刈取進捗状況の「最盛期」は、平年より4日、前年より  
 7日遅かった。

<刈取進捗状況 10月10日現在>

	刈 取			最盛期の 平年差
	始め	最盛期	終わり	
八戸市	9/27	10/9		遅4日
五戸町	10/1	10/10		遅5日
階上町	9/27			
新郷村	10/1			
三戸町	9/26	10/6		遅5日
南部町	9/30			
田子町	9/27	10/9		遅5日
管内計	9/29	10/9		遅4日

注) 「始め」: 刈取面積5%、「最盛期」: 刈取面積50%、「終わり」: 刈取面積95%に、  
 それぞれ達した月日。

## 2 大豆

### (1) 生育状況

10月中旬から成熟期を迎え、10月下旬がコンバインの収穫適期になると推定される。

### (2) 今後の対策・指導等

適期収穫

## 3 小麦

### (1) 生育状況

9月下旬～10月中旬にかけて、は種作業が行われ、は種の早かったほ場の出芽は良好である。

## II 野菜

### 1 ながいも

#### (1) 生育、作業の状況

ながいも生育観測ほの生育状況（10月10日現在）

場所	年次	植付期 (月日)	萌芽揃い (月日)	つるのネット 頂到達日 (月日)	10月10日		
					いも長 (cm)	いも重 (g)	いも径 (cm)
五戸町 (上市川)	本年 (平年比)	5月8日 6日早	6月8日 8日早	7月12日 4日遅	82.0 96.5%	1044 79.9%	54.6 86.7%
	平年	5月14日	6月16日	7月8日	85.0	1,306	63.0
	前年	5月6日	6月10日	7月6日	100.3	1,130	51.8

○種子の系統：庄司 ○畦幅120cm、株間22cm（3,788株/10a）

○使用種子の種類・重さ：2年子・120～150g

#### ア. 生育観測ほ

いも長、いも重、いも径ともに平年を下回り、平年より生育量が少ない。  
いも上部のリング、横の亀裂が見られた。

病害虫ではナガイモコガの食害が散見されるが、被害は少なく、その他の病害虫の発生は見られない。

#### イ. 一般ほ場

全般的にムカゴの着生が少なく、9月中旬の台風の影響により、ほ場周縁部を中心とした蔓切れ、ネットの破れが一部ほ場で見られ、被害が大きかったほ場では、葉の黄化が早い。

病害虫では、ナガイモコガの食害が目立つほ場が散見されるが、病害は目立たない。

### (2) 今後の対策・指導等

ア. 通路に落ちたむかごの処理等、収穫準備をすすめる。

イ. 葉渋病、炭疽病の多発ほ場では次年度同一ほ場での連作を避ける。

## 2 ねぎ

### (1) 生育の状況等

- ア. 8月中旬の降雨により培土、追肥が遅れたため、9月中旬はB品の出荷が多くなった。
- イ. 病害虫では、周期的な降雨の影響で、葉枯病、黒斑病、さび病の発生が目立っている。
- ウ. 台風の影響で、葉折れ等の傷みが目立つほ場がある。

### (2) 今後の対策・指導等

- ア. 収穫遅れの無いよう適期収穫に努める。
- イ. 病害虫の発生状況に合わせて、防除を徹底する。

## 3 にんにく

### (1) 生育の状況等

- ア. 植え付け作業は9月下旬頃から始まり、その後、降水量も少なめに推移したことから7割程度終了し、平年並みである。
- イ. 既に萌芽しているほ場もあり、生育は概ね順調である。

### (2) 今後の対策・指導等

- ア. 植え付けが遅れている場合は、ほ場条件を確認しながら、出来るだけ早く定植する。

## 4 トマト、ミニトマト

### (1) 生育の状況等

- ア. 7月の高温による落花で着果数が少なく、また、8月の低温により着色が遅れたことから、9月の出荷量は例年よりも少なく推移した。
- イ. 病害虫では、トマトで灰色かび病、すすかび病、ミニトマトで灰色かび病、うどんこ病、斑点病が目立っている。

### (2) 今後の対策・指導等

- ア. 病害虫の発生状況に合わせて、防除を徹底する。

## 5 いちご

### (1) 生育の状況

いちご促成栽培(10月11日調査)

品種名	年度	草高 (cm)	葉柄長 (cm)	小葉長 (cm)	小葉幅 (cm)	クラウン径 (mm)
とちおとめ	本年	20.1	11.8	11.2	9.7	15.0
	平年	15.9	9.6	9.2	7.1	13.0
	平年比	126%	123%	121%	136%	115%
さちのか	本年	21.4	15.3	10.9	8.1	16.8
	平年	12.1	8.1	8.0	6.3	13.1
	平年比	177%	188%	136%	128%	128%

※とちおとめ:定植日 8/23 さちのか:定植日 8/23

※※「とちおとめ」の平年:平成15～28年

※※「さちのか」の平年:平成18～28年、平成28年から担当農家に変更

ア. 生育観測ほの生育は平年より進んでおり、現在、頂果房が開花中である。

また、病害虫では、うどんこ病が見られる。

イ. 一般ほ場でも、生育は進んでおり、うどんこ病、ハダニ類の発生が見られる。

### (2) 今後の対策・指導等

ア. うどんこ病、ハダニ類の防除を行う。

イ. 適正な温度管理に努める。